



学校評価推進モデル校

三小

学校関係者評価

学校運営の改善と発展

学校として目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組みの適切さを検証することにより、組織的・継続的に学校運営を改善する。



みんなの力が
学校を支え
学校を変える

教育の質の保証・向上

評価結果を踏まえて、教育委員会が、学校に対する支援・改善等の必要な措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証しその向上を図る。

家庭・地域との連携

自己評価や保護者等による評価の実施、結果公表により、保護者や地域からの理解と参画、協力を得て、信頼される開かれた学校づくりを進める。

推進体制

「学校評価検討部会」

学校評価全体の企画運営を担い、年間を通して、学校評価を組織的かつ計画的に実施するための校内組織を設置する。



「学校関係者評価委員会」

学校の現状と課題を協議し、学校改善が適切に行われるようにするために、学校評議員と学識経験者で組織する。

モデル校の使命

平成22年度

学校評価モデルを構築



平成23年度

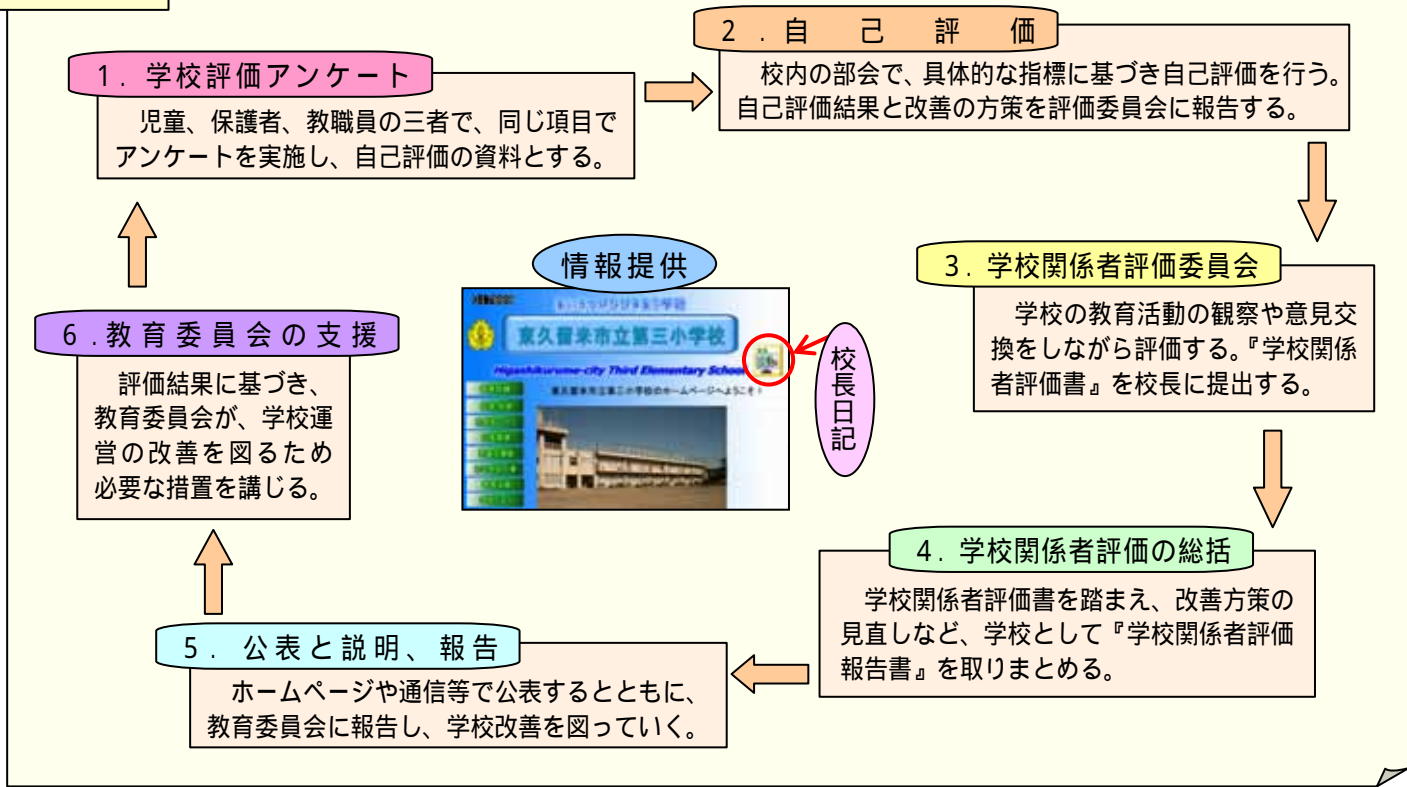
市内全校で統一して実施

学校関係者評価のモデルプラン及び評価結果がまとまりましたので、ご報告申し上げます。保護者・地域の皆様には、ご協力を賜りましたことに改めてお礼申し上げます。これら評価の結果を学校として真摯に受け止め、学校運営の改善と教育の質の向上に努めてまいります。

平成23年3月 東久留米市立第三小学校

学校関係者評価の実施

概要



日程	保護者 児童	学校 公開等	学校関係者評価委員会	教育委員会
4月 5月 6月 7月	授業参観アンケート 授業評価・生活調査	学校評価部会を設置 評価計画作成・提出 学校公開（第1回） 重点目標等の周知 授業改善プラン公表	学校関係者評価委員会を組織 第1回評価委員会 ・評価目的や方法説明 ・学校の教育状況説明	評価計画の受理、助言 評価委員の委嘱
9月 10月 11月 12月	学校行事アンケート 授業参観アンケート 学校行事アンケート 学校評価アンケート 授業評価・生活調査	運動会 学校公開（第2回） 学習発表会 学校評価アンケート 実施、集計	第2回評価委員会 ・学校の教育活動の観察や意見交換	指導主事等による学校視察の実施及び指導助言（通年）
1月 2月 3月	授業参観アンケート 授業評価・生活調査	自己評価を実施 ・分析と改善策立案 学校公開（第3回） 学校評価アンケート結果の公表 学校評価の総括 『学校関係者評価報告書』の提出・公表	第3回評価委員会 ・学校関係者評価 第4回評価委員会 ・『学校関係者評価書』を作成し、校長に提出	学校運営改善の支援

手 順

1. 学校評価アンケート



対 象 教職員、保護者、児童・生徒の三者に同じ項目で質問
回数等 年 1 回、12月頃に実施
質問数 全25問 全校共通の質問20問 + 学校独自の質問 5 問
選択肢 4 件法に「わからない」を加えた 5 択
留意点 児童向けの質問は、児童に問える質問内容に限定し、
18問とした。
様 式 学校評価アンケート（マークシート）、アンケート結果

2. 自己評価



組 織 学校評価検討部会を中心とする全教職員
内 容 「学校評価アンケート」の結果を基に、自己評価を行い、
改善方を検討する。
留意点 評価が低かった項目は必ず改善策を練る。
様 式 自己評価シート

3. 学校関係者評価委員会



組 織 学校関係者評価委員会（学校評議員と有識者で組織）
内 容 第1回 評価方法、学校の現状等を説明
第2～3回 学校の教育活動の観察や意見交換等
第4回 校長に最終評価『学校関係者評価書』を提出
様 式 学校関係者評価書

4. 学校関係者評価の総括



組 織 学校評価検討部会を中心とする全教職員
内 容 「学校関係者評価書」を踏まえ、評価結果の分析に加え、
改善方策等を見直す。
次年度の教育課程に反映する。
様 式 学校関係者評価報告書

5. 評価結果の公表・報告



組 織 学校
内 容 1～4の評価結果等すべての資料
時 期 3月末まで
公 表 学校ホームページ及び学校便り等で公表する。
報 告 教育委員会へ報告する。

6. 教育委員会の支援・措置

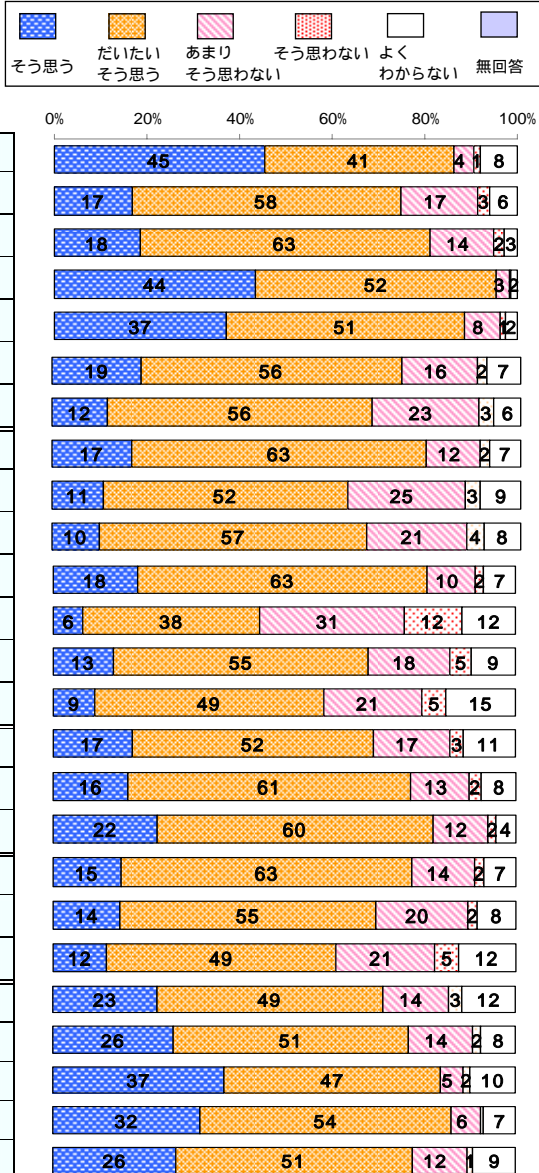
組 織 教育委員会
内 容 評価結果・改善策に応じて指導・助言を行うとともに
学校に対する人的・物的支援や条件整備等の改善措置
を講じる。
留意点 評価の低かった項目は、学校に改善策を提出させる。

(4) 評価結果と分析例

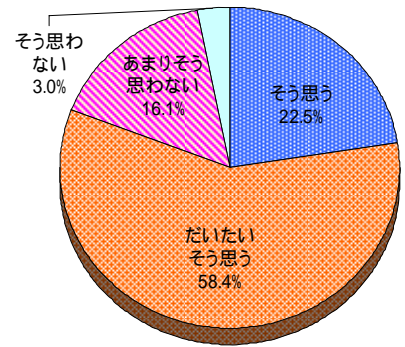
保護者からの評価

1. 項目別評価

安全な学校と信頼される教育の確立	1	校長のリーダーシップ
	2	児童理解
	3	安全・安心
	4	学校公開
	5	情報発信
	6	地域への参加
	7	家庭教育支援
確かな学力の育成	8	授業の工夫・改善
	9	個に応じた指導
	10	探究的な学習
	11	言語活動
	12	外国語活動
	13	環境教育
	14	特別支援教育
人権尊重	15	人権尊重教育
	16	規範意識
	17	体験活動
健やかな心と体	18	道徳教育
	19	健やかな体
特色ある教育活動	20	教育相談
	21	ICT
	22	学校図書館
	23	金管バンドクラブ
	24	地域との協働
	25	交流及び共同学習



2. 総合評価



3. 項目別平均値

質問文	評価
校長のリーダーシップ	5.8
学校公開	5.8
地域との協働	5.6
情報発信	5.5
金管バンドクラブ	5.5
交流及び共同学習	5.4
言語活動	5.2
安全・安心	5.1
体験活動	5.1
ICT	5.1
学校図書館	5.1
授業の工夫・改善	5.0
人権尊重教育	5.0
規範意識	5.0
道徳教育	5.0
児童理解	4.9
地域への参加	4.9
健やかな体	4.9
環境教育	4.8
探究的な学習	4.7
家庭教育	4.6
個に応じた指導	4.5
教育相談	4.5
特別支援教育	4.4
外国語活動	3.9

そう思う7、だいたいそう思う5、あまりそう思わない3、そう思わない1として平均を計算した。満点で7.0。

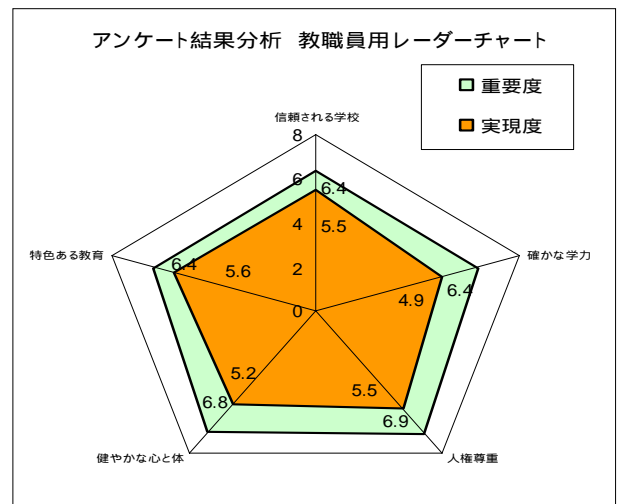
教職員からの評価

4. 重要度×実現度 マトリック

高	金管バンドによる地域連携	情報発信	6.5	ICT活用	校長のリーダーシップ	
		地域との協働	6.0	体験活動	教育相談 人権尊重教育 児童理解 安全・安全	
実現度			5.5	6	6.5	7
		地域への参加	5.5	個に応じた指導	規範意識 特別支援教育 道徳教育	
		授業の工夫・改善	5.0	言語活動		
		環境教育		学校図書館		
低		家庭教育支援		交流・共同学習		
		健やかな体		探究的な学習		
			低	重要度	高	

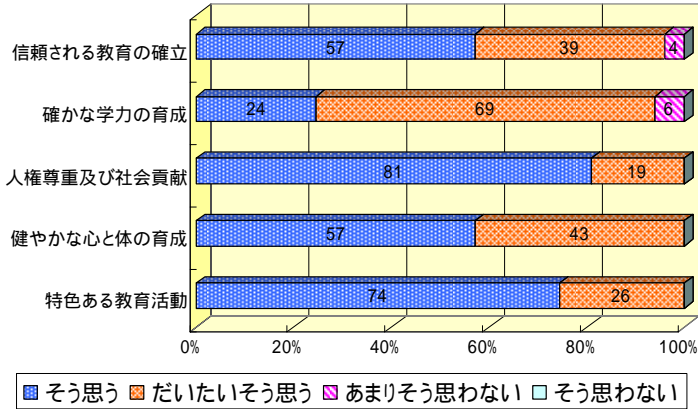


5. レーダーチャート

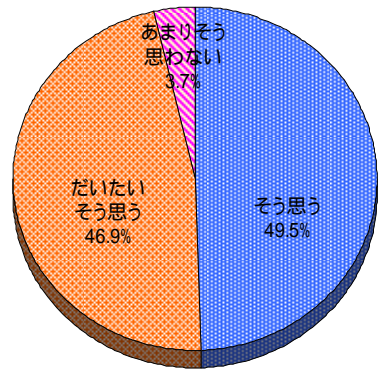


学校関係者評価委員会による評価

1. 観点別評価



2. 総合評価



3. 項目別評価

0% 20% 40% 60% 80% 100% 評価の高い項目 評価の低い項目

信頼される教育の確立	安全な学校と	1	校長のリーダーシップ	100		
		2	児童理解	29	71	
		3	安全・安心	57	43	
		4	学校公開	71	29	
		5	情報発信	86	14	
		6	地域への参加	14	57	29
		7	家庭教育支援	43	57	
確かな学力の育成		8	授業の工夫・改善	29	71	
		9	個に応じた指導	43	57	
		10	探究的な学習	14	71	14
		11	言語活動	43	57	
		12	外国語活動	0	71	29
		13	環境教育	14	86	
		14	特別支援教育	29	71	
人尊・社会貢献		15	人権尊重教育	86	14	
		16	規範意識	71	29	
		17	体験活動	86	14	
健やかな心と体		18	道徳教育	71	29	
		19	健やかな体	43	57	
特色ある教育活動		20	教育相談	57	43	
		21	ICT	86	14	
		22	学校図書館	57	43	
		23	金管バンドクラブ	100		
		24	地域との協働	86	14	
		25	交流及び共同学習	43	57	

教育委員会の重点と合わせて経営されている。着任早々、指導力を発揮している。方針や目標が明確で素晴らしい。

ホームページとお使いがわりやすくなった。学校情報が「見える化」の方向性にあり、啓発活動につながっている。

学校は、地域に協力を求めるが、地域行事に積極的に教員が参加することが少ないのは課題である。

学校教育法に基礎基本の定着と活用を図るとともに思考力・判断力・表現力の育成(探究)が重要視されている。

幼少期からの英語教育は大切である。児童にとって負担とならないように、慣れ親しみ、楽しむ英語活動を。

太陽園を大いに活用してほしい。自然を生かしたプランニング(指導計画の作成)をすることが必要である。

校門で「こんにちは」と挨拶をされた。教育の成果だと思う。自分を大事にするように、他人を尊重できるように。

自然・体験、奉仕的な体験の機会を教育課程に明確に。野菜を育て料理する体験など、食育の視点も加えてほしい。

他校に比べ格段にICTの日常使いができています。日常の授業におけるICTの活用を普及することが大切である。

子どもたちが楽しくやっている姿が嬉しい。前を知る者として今回の復活を大変喜んでいる。活躍を祈りたい。

保護者や地域の教育力を大いに生かし、学校の活性化、地域の活性化につながっている。小中連携はどうなのか。

学校関係者評価の総括

1. 総括

全体的には高い評価となりました。しかし、評価委員の方から「確かな学力の向上は学校の要であり、一層の授業改善、個に応じた指導の工夫が必要である」との指摘をいただくなど、“確かな学力の育成”が課題であり、校内研究をさらに充実・活性化させるなど、教員の指導力を向上させてまいります。

また、教職員の方が保護者よりも甘い評価が多いことや、両者の評価に大きな差異がある項目など、アンケート結果についても更なる分析が必要です。

なお、今後、評価の精度を上げるために、評価項目の精査、評価アンケート文言の改訂、評価者への情報提供の充実、結果の分析・考察の一層の改善などが必要と考えています。

2. 観点別評価

評 価 の 総 括	<p>観点1 「安全な学校と信頼される教育の確立」 校長のリーダーシップや学校公開、情報発信などは、今年度特に力を入れてきた点でもあり、また外から見やすいことから高い評価をいただいた。 家庭教育への支援は、評価が低かったものの、ノーテレビ・ノーゲームなど、家庭と連携し啓発する試みとして一定の評価をいただいている。 学校の安全確保については、教員の安全管理や児童への指導面よりも、施設の老朽化等に伴う補修や維持管理など行政面の管理責任を問われている。 教職員は、保護者や地域への協力を求めている反面、自らは地域行事へ積極的に参加する姿が弱く（年1回以上の参加率75%）、その矛盾を指摘されている。</p>
	<p>観点2 「確かな学力の育成」 全体的に低い評価となった。とりわけ、探究的な学習や言語活動の充実、外国語活動は、教職員の自己評価も低く、今後の大きな課題と言える。</p>
	<p>観点3 「人権尊重及び社会貢献の精神の育成」 いずれも高い評価をいただいている。</p>
	<p>観点4 「健やかな心と体の育成」 教育相談については、児童理解や特別支援教育と同様に、教職員と保護者の評価にかい離があり、もっと我が子をしっかり見てほしいとの気持ちの表れと受け止めている。 健やかな体については、健康面では十分な配慮がなされているものの、体力向上面で目に見える取組みがない点を指摘された。</p>
	<p>観点5 「特色ある教育活動」 金管バンドと地域との協働については、東京都教育委員会表彰を受賞するなど、内外から高い評価を受けた。情操教育の面からも更なる期待が寄せられている。 ICTについては、大型テレビと実物投影機の組み合わせにより、市内のどの学校よりも効果的に活用し、分かる授業、共に学び合う授業につながっていると評価された。 学校図書館の活用については、学校図書館そのものの整備と読書活動については、努力が伝わるものの、教科等の授業における活用が期待されている。 交流及び共同学習については、特別支援教育と同様に、保護者には分かりづらいようで、評価委員の方からのコメントもいただけなかった。情報共有が必要である。</p>

3. 改善の方策

改 善 策 の 例	一例として、評価委員の評価（満点7）が低かった項目を中心に改善策を列举する。
	外国語活動 4.4 指導内容と授業時数の見直し。低学年3時間(H22) 8時間(H23)
	地域への参加 4.7 全教職員の参加を促す。参加率75%(H22) 100%(H23)
	探究的な学習 5.0 総合的な学習の時間の計画・内容を抜本的に見直す。
	特別支援教育 5.6 校内委員会を中心に一層充実させ、外にも見える化していく。
	授業の工夫改善 5.6 言語活動の充実に焦点を当て、実践的な研究を深める。
健やかな体 5.9 日常的な運動を習慣化させ、基礎的な体力向上を図る。	

学校評価アンケートの作成・集計

学校評価を実施する上で、評価アンケート等の膨大なデータを処理する必要があります。本校では、下記の2つのプログラムを活用することで、事務量を大幅に軽減しました。

1 「学校評価支援システム」

慶應義塾大学SFC研究所が、文部科学省の事業委託を受けて開発したプログラム。

次の3つで構成。ブラウザ上で作動する。 <http://smp.sfc.keio.ac.jp/sess2009/>

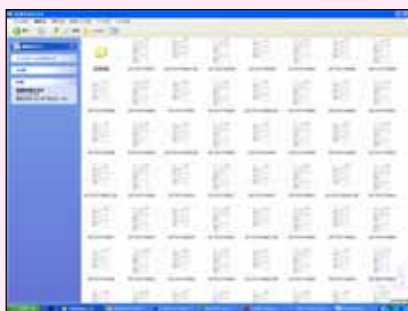


- 『かんたん調査票作成ソフト』
普通紙でマークシート形式の調査票を作成できるソフトウェア
- 『かんたん調査票読み取りソフト』
調査票のマークを認識・集計することができるソフトウェア
- 『かんたん課題分析データベース』
自動的に課題分析を行うことができるソフトウェア

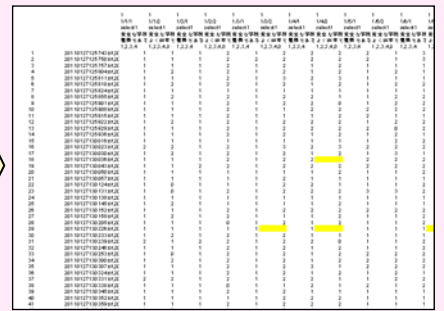
【マークシート形式の調査票作成】



【調査票をスキャナーで読み込む】

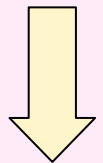


【マークを認識して集計する】



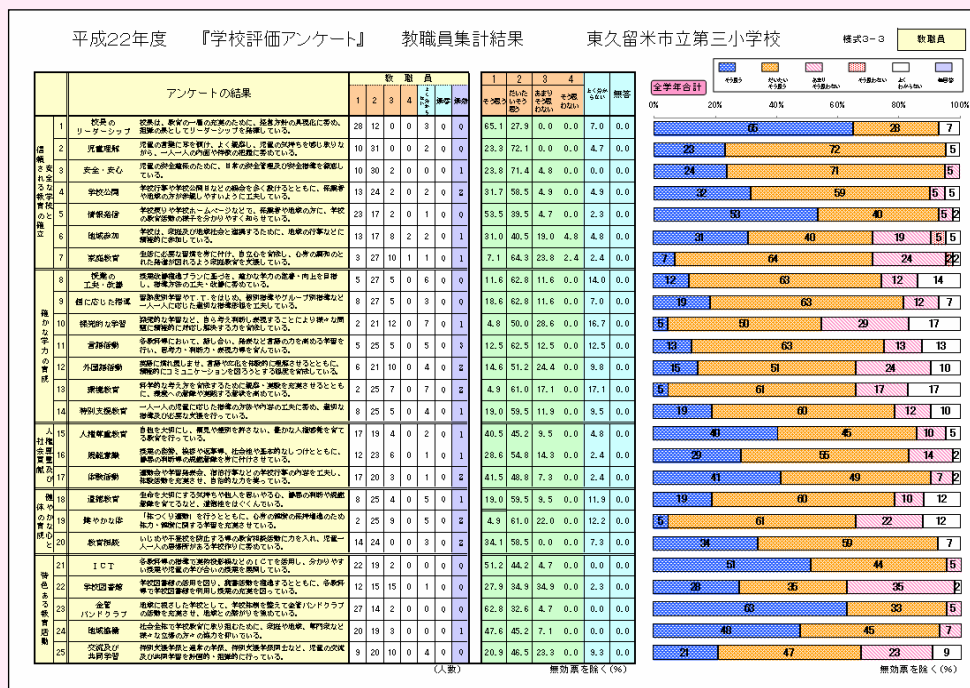
2 「集計・帳票出力システム」

本校が、早稲田大学大学院 教職研究科教授 三尾忠男 氏のプログラムをもとに開発したエクセルのプログラム。 著作権：第三小学校



【エクセル】

【学校評価アンケート結果（教職員向け）】



学校評価支援システムの結果を貼り付けると、自動生成される。